

ぼくらは太陽

名古屋市立東桜小学校 HP <http://www.nagoya-c.ed.jp/school/higashisakura-e/>



6年生奉仕活動

2月28日（水）に6年生が卒業に向けて奉仕活動を行いました。側溝にたまった泥をスコップで集めたり、集まった泥を二輪車やバケツで運んだり、精力的に活動しました。今までお世話になった東桜小学校への感謝の気持ちが



が伝わってくる働きぶりが見られ、感心しました。こんなに素晴らしい6年生と関わることができたことに、職員一同感謝しています。ありがとうございました。

3月に入り、いよいよ卒業式練習も本格的に始まりました。2週間後の今日は卒業式です。思い残すことがないように小学校生活を満喫してほしいです。



環境・園芸委員会からの挑戦状

先週1週間、環境・園芸委員会による企画「環境・園芸委員会からの挑戦状」が行われました。植物や樹木についてのクイズに答えました。子どもたちは校内を回りながら、植物の名前を確認したり、職員にクイズのヒントをもらったりしていました。この活動を通して、校内の植物や自然に興味をもつとともに、環境保全の気持ちを高めてほしいと思います。

先生！このクイズのヒントを教えてください！

2年赤組授業参観

延期していた2年赤組の授業参観・学級懇談会を3月1日（金）に行いました。授業参観では、子どもたちが今まで学んできたことや調べたこと、感じたことなどを自信をもって堂々と発表していました。急な日程変更にも関わらず多くの保護者の方にご参加いただきました。本当にありがとうございました。



5年生「焼き物」

5年生が2学期に図画工作の授業で作った焼き物が届きました。コップや皿、花瓶などから自分が作りたいものを選んだり、青・白・透明から作りたいものに合わせて色を考えたりしました。完成した焼き物を見て、「イメージ通り！」「思っていた色とちょっと違った。」など、様々な声が聞かれましたが、どの子も世界に一つだけしかない自分の焼き物に満足そうな表情を見せていました。



教職員も日々研鑽を積んでいます

学校努力点では、「主体的に学ぶ東桜っ子の育成」というテーマで2年間行ってきました。学校の授業ではもちろんですが、家庭学習や行事の企画など、様々なところで主体的に活動する子どもたちの姿が見られました。先日、教職員でも今年度の学校努力点の取組を振り返りました。子どもたちと同じように、教職員もタブレットを使ったり、自己選択・自己決定をしたりしながら、指導力や授業力を高めるために主体的に学んでいます。多くの成果とともに、来年度に向けての課題も見つかったので、改善していきたいと思います。今後も、教職員で集まり、主体的な学びの実現に向けた研修を行ったり、子ども中心の行事となるよう計画を見直したりして、より良い東桜小学校にしていきたいです。よろしくお願いします。



ふわふわ言葉の木

先日保健だよりでも紹介しましたが、保健室の廊下に「ふわふわ言葉の木」が掲示されています。全校児童から集めた心が温まるすてきな言葉の数々。廊下を通るだけでも元気が出ます。



「ふわふわ言葉」とは、「ありがとう」「いいね」「すごいね」「ごめんね」など、伝える

方も伝えられる方も、うれしくて幸せな気分になれる言葉です。一方、「ちくちく言葉」は、「うざい」「きもい」「きえろ」など、言われると、嫌な気持ちになり、落ちこんだり悲しい気分させたりする、相手の心をちくちく刺す言葉です。授業中の子どもたちの発言からは、誰もが、「ふわふわ言葉」がよい言葉で、「ちくちく言葉」を無くしていくことが大切だと思っていることが分かります。

しかし、現代社会の中で、残念ながら「ちくちく言葉」はあらゆるところで使われていて、中には、口癖のようになってしまうこともあるようです。また、相手に言われて、言い返してしまうということもあります。

自分が口にする言葉が、相手を思いやっている言葉かどうか、「ふわふわ言葉」か「ちくちく言葉」の違いです。みんなが幸せな気分になれる「ふわふわ言葉」であふれる学級、学年、学校になるよう、子どもたちの言語環境を見直していきたいと思っています。



ふわふわ
ことば



ちくちく
ことば